

名古屋大学《未来社会創造機構・特任助教または研究員》公募要領

1	募 集 件 名	特任助教または研究員の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	名古屋大学未来社会創造機構脱炭素社会創造センター	
4	募 集 内 容	[公募の背景] 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学は、JST-CREST「材料創製および循環プロセスの革新的融合基盤技術の創出とその学理構築」において、「産廃シリコンのアップサイクルによる高機能材料創製」を推進します。本プロジェクトは、廃棄太陽電池パネルや半導体基板製造に由来する産業廃棄物シリコンを潜在的資源と捉え、熱電材料などの高付加価値機能材料へのアップサイクルを可能にする材料開発手法の学理構築を目指します。 [職務内容] (雇入れ直後) 産廃シリコン資源の評価・前処理、高機能材料(熱電材料等)への変換プロセス開発など (変更の範囲) ・東海国立大学機構が指定する業務 [求める人物像] ・ 固体材料の合成・プロセス開発、構造・物性評価(XRD、SEM、TEM、熱電特性など)のいずれかに経験がある方 ・ 循環型社会・資源リサイクルやエネルギー変換材料に関心を持ち、新しいテーマに挑戦できる方 ・ 異分野・他機関との共同研究を円滑に進めるコミュニケーション力と柔軟性を備えた方 ・ 実験に加え、データ解析・シミュレーションなど多様な手法を組み合わせた研究に意欲のある方 [勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 特任助教または研究員 1名 [着任時期] 2026年4月1日以降のできるだけ早い時期	
5	募 集 研 究 分 野	(大分類) ナノテク・材料	(小分類) 結晶工学、組織制御、機能材料
		(大分類) ものづくり技術	(小分類) 資源化学プロセス、電気電子材料工学
6	勤 務 形 態	常勤(任期付) 契約期間: 期間の定めあり(採用日から2027年3月31日まで) 試用期間: あり(採用日から6か月) 契約の更新可能性: 有(契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断)	

		プロジェクト期間/通算契約期間：最長 2031 年 3 月 31 日まで
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・ 材料科学・無機化学・冶金・電気化学など関連分野で博士号（または同等の研究経験）を有する方
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・ 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110000191.html ・ 専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされます。 ・ 休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・ 加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・ 受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2025 年 9 月 26 日～2025 年 11 月 30 日（必着）
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] ① 履歴書（写真添付、連絡先（住所、電話、メールアドレス）明記） ② 業績リスト（学会誌等の論文、国際会議、著書・解説、特許、受賞など） ③ これまでの研究（A4 用紙 2 頁以内） 着任後の抱負（A4 用紙 1 頁以内） ④ 照会者 2 名の方の連絡先（氏名、所属、連絡先） ⑤ 類型該当性の自己申告書（下記 URL より様式をダウンロードください。） https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/zXHTc8eBAB8Hmcs 上記の書類を圧縮するなどして 1 つのファイルにまとめて応募期間内に、以下 URL にアップロードしてください。 （"https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/FLc4tcCzDfanF35"） アップロード後には、下記連絡先に電子メールにて、応募したことを連絡してください。 （"usami.noritaka.i7@f.mail.nagoya-u.ac.jp"） なお、お送りいただいた書類は選考のみに使用しますが、返却はしませんのでご了承ください。 [選考内容（選考方法、採否の決定）] 書類審査のうえ、面接を行います。面接の際の旅費は自己負担とします。 [結果通知方法] 選考結果はメールで通知します。 [問い合わせ連絡先] 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院工学研究科 物質プロセス工学専攻 （兼）未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 教授 宇佐美 徳隆 e-mail : usami.noritaka.i7@f.mail.nagoya-u.ac.jp

11	そ の 他	① 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ② 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ③ 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ④ 面接に要する交通費は支給しません。 ⑤ 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ⑥ 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダー・ダイバーシティセンター Web サイト: https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロギング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言: https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ⑦ 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。